

高円宮賜杯第41回全日本学童軟式野球千葉県予選大会

マクドナルド・トーナメント

実施要項

1. 主 催 全日本軟式野球連盟千葉県支部（千葉県野球協会）
2. 主 管 千葉県少年野球連盟
3. 後 援 東京新聞、東京中日スポーツ、毎日新聞社千葉支局、千葉日報社、
ナガセケンコー(株)、共同写真企画
4. 特別協賛 日本マクドナルド株式会社
5. 会 期 令和3年5月23日（日）・29日（土）・30日（日）
予備日 6月5日（土）
6. 会 場 (A) 袖ヶ浦市営今井球場 袖ヶ浦市長浦 580-76
(B) 百目木公園野球場 袖ヶ浦市百目木 200
7. 参加チーム 千葉、習志野、八千代、市川、船橋、葛南、東葛、柏、市原、かずさ、
安房、九十九、北総、印旛、東総の代表と前年度優勝チーム地域の16チーム。
8. 出場資格 ①小学校で編成されたクラブチームとする。
②日本リトルリーグ野球協会及び日本少年野球連盟など硬式ボールを使用している団体に登録（参加）している者の出場は認めない。
③20歳以上の責任者をチーム代表者として届出しなければならない。
④チームは20歳以上の引率責任者を必ずつけなければならない。（監督が兼務する事ができる。）球場への往復、大会期間中の事故について主催者側は一切責任をもたないので出発から帰宅まで責任を持てる者を選ぶこと。
⑤チームは、監督1名、コーチ2名以内、選手10名以上20名以内で編成していること。ただし、監督、コーチは、成人でなければならない。
⑥チーム代表者（引率責任者）、マネージャー、スコアラー各1名、介護員2名以内は試合中ベンチに入れるが、服装については、スポーツ行事にふさわしいものを着用すること。
⑦出場選手全員スポーツ保険に加入していること。
⑧出場チームは、各地域の予選会に優勝し、かつ、その地域理事の推薦を受けていること。
9. 試合規則 2021年度公認野球規則、競技者必携2021少年野球に関する事項及び千葉県野球協会特別規則を適用する。
なお、競技場の事情により特殊なルールを別に定める事ができる。
10. 大会規律 不正出場、その他規律違反に対しては、全日本軟式野球連盟規程細則により処理する。応援団は試合に干渉できない。もし、審判員の判定に従わず騒ぎ立てたりなどして、試合続行を妨げた場合には、そのチームが責任を負うものとする。この場合、そのチームが試合をフォーフィット（没収）され、その後の出場を停止されることもある。
11. 審 判 員 審判員は、千葉県少年野球連盟審判部が担当する。

規則適用をめぐる紛争が生じた場合、その試合担当の審判員の責任で処理をする。ただし、審判員が裁定に苦しむときは、控え審判員及び大会規則委員が協議して裁定する。この裁定は、最終的なものである。

12. 大会使用球 全日本軟式野球連盟公認「ケンコーボールJ号」とする。
13. 試合方法 ①全試合7回戦として、トーナメント方式により優勝チームを決定する。
②優勝チームは、令和3年8月16日(月)より新潟県で開催される全国大会に、千葉県代表として出場しなければならない。
③ベンチは、組合せ番号の若い方を1塁側とし、攻守は「トス」で決める。
14. 組合せ抽選 千葉県少年野球連盟の各地域理事による代理抽選をして決定する。
15. 監督主将会議 令和3年5月8日(土)午後1時より千葉県総合スポーツセンター宿泊研修所で行う。
16. 開会式 令和3年5月23日(日)午前8時より袖ヶ浦市宮今井球場で行う。
集合は7時30分とする。
17. 表彰 優勝チーム、準優勝チームおよび3位チーム。
18. 参加申込み ①出場チームは、参加申込書について所屬地域理事を経由して5月9日(日)までに以下あてE-mailにて申込むこと。
千葉県少年野球連盟総務部長 平田宗久 munehisasanta@yahoo.co.jp
(千葉県野球協会へは、平田部長より一括して申込む。)
★参加申込書は、千葉県野球協会ホームページ(申請書)、または、千葉県少年野球連盟ホームページよりダウンロードし作成してください。
②参加申込み以降は、選手の追加、変更及び背番号の変更、訂正は認められない。
③参加申込書は、監督・主将、以下その他の選手は背番号の若い順に記入し、守備位置欄には、投手、捕手、内野手、外野手を記載すること。
なお、補欠の名称は記載しないこと。
④連絡者は、代表者に限定せず、実際に連絡可能な者2名を記入のこと。
⑤大会参加料10,000円は、監督主将会議当日に納入のこと。
19. 問い合わせ 大会前 千葉県野球協会_競技運営委員長 笠井 090-2164-3058
大会期間中 千葉県少年野球連盟_事業部長 中島 080-1147-0628
20. その他 ①出場チームは必ず背番号(0番から99番まで、監督30番・主将10番・コーチ29番、28番)を付けること。
ただし、学童部の千葉県内の大会は0番から27番までとする。
②大会運営上の規則等確認・周知
○投球制限について(学童部)【千葉県野球協会特別規則】
昨年と同様、適用せず投球制限は設けない。
ただし、学童部の千葉県内の大会は1試合12アウトまでとする。
○オーダー交換時間の厳守
【競技者必携 競技運営に関する注意事項(少年部、学童、女子大会)】
その日の第一試合に出場のチームは、試合開始予定時刻の30分前までに、千葉県少年野球連盟が使用するオーダー表を監督と主将が大会本部に提出する。
【千葉県野球協会特別規則】
監督と主将は、第一試合を除き前試合4回終了後、直ちに千葉県少年野球

連盟が使用するオーダー表を提出してください。

○ベンチ入りに介護員2名以内を認める。【千葉県野球協会特別規則】

○競技場内ブルペンの使用

【競技者必携 競技運営に関する注意事項（少年部、学童、女子大会）】

次の試合のバッテリーは、攻守決定後、競技場内のブルペンを使用することができる。

- ・先発バッテリーのみ、捕手は防具を着用
- ・試合中チームの使用を優先

③野球規則等の遵守徹底について【千葉県野球協会での周知事項】

大会運営において、全日本軟式野球連盟規則、公認野球規則及び千葉県野球協会特別規則の決定事項が守られていないことから、あらためて遵守徹底を周知するもの。

○競技及び開会式には監督・コーチ・参加届に記載された選手全員参加しなければならない。ただし、特別の事情が生じたと大会委員長が認めた場合は、この限りではない。【全日本軟式野球連盟規程細則】第3条_4

○金属製金具のついたスパイクを使用することはできない。

【全日本軟式野球連盟規程細則】第12条_5_（8）

○フリーバッティング禁止の確認

【競技者必携 競技運営に関する注意事項（少年部、学童、女子大会）】

練習は外野に限り行うことができる。（フリーバッティングは厳禁）

○ウオームアップ投球数の確認

【競技者必携 試合のスピード化に関する事項】

投手（救援投手を含む）の準備投球は初回に限り8球以内が許される。

次回からは4球以内とする。なお、季節または状況により考慮する。

④チームは球場に到着したときは、直ちに大会本部に申し出ること。

⑤ユニフォームの左袖に都道府県名（都市名は不可）のみをつけ、右袖にマクドナルドワッペンをつける。

⑥危険防止のため試合中捕手は、ファウルカップを着用のこと。

⑦両チームは、試合終了後球場整備を行うこと。また、最終試合チームは更衣室、ベンチ等を清掃すること。

⑧ゴミは各自が持ち帰ること。

21. 新型コロナウイルス感染予防対策について

千葉県野球協会では、新型コロナウイルス感染予防対策として「千葉県野球協会感染予防対策ガイドライン」及び「健康チェックシート」を作成し、千葉県野球協会ホームページ（申請書）に掲載いたしました。

チーム代表者は、熟読していただき、選手並びに関係者に周知徹底方お願いいたします。

なお、健康チェックシートにつきましては、チームが球場に到着したとき、直ちに大会本部に提出し、指示にしたがってください。

千葉県野球協会特別規則（学童用）

この規則は、別に定める規則を除き、千葉県野球協会（以下「本協会」という。）が主催する大会の全ての試合に適用する。

1. 監督または主将（少年・学童は監督と主将。）は、第一試合を除き前試合4回終了後、直ちに千葉県少年野球連盟のオーダー表を提出してください。
2. オーダー表の記入方法 登録された者の全員を記入する。なお、参加選手が9名以内の確認のため、当日不参加者選手の氏名左に<レ>を付記する。
3. 背番号（学童）学童大会の出場チームは必ず背番号（0番から27番まで、監督30番・主将10番・コーチ29番、28番）を付けること。
4. ベンチに入れる人員（少年・学童）
登録されたユニフォームを着用した監督30番、コーチ29番・28番および選手9名以上20名以内と、チーム代表者、マネージャー、スコアラー各1名とする。ただし、監督、コーチは成人でなければならない。なお、学童については介護員2名以内を認める。
5. 正式試合 正式試合になる回数は、5回とする。
6. 得点差によるコールドゲームの適用
 - ① 9回戦・・ゲーム中において、5回を終了して10点差が生じた場合及びゲーム中において、7回を終了して7点差が生じた場合。〈二段階制〉
 - ② 7回戦・・ゲーム中において、5回を終了して7点差が生じた場合。
7. 投手の投球制限（学童）少年（中学）
少年 1日の投球数は100球以内とする。試合中規定投球数に達した場合、その打者が打撃を完了とするか、攻守交替まで投球できる。
学童については、同一投手の投球回数を1試合4イニング（タイブレーク方式も含めて12アウト）とする。1日2試合ある場合は、2試合目については3イニング（9アウト）とする（1日の合計7イニング21アウト）なお、四年生以下の投手の投球回数は、1試合3イニング（9アウト）とする。
8. 試合時間
 - ① 一般、9回戦の場合、時間に関係なく9回まで行う。但し、9回を終了し同点の場合は、「9.延長戦」の規定による。
7回戦の場合、2時間30分としこれを越えた場合新しいイニングに入らない。
 - ② 少年、2時間00分とし、これを越えた場合新しいイニングに入らない。
 - ③ 学童、1時間30分とし、これを越えた場合新しいイニングに入らない。
9. 延長戦
 - ① 天皇賜杯、国民体育大会の場合12回までとする。ただし、3時間00分を経過した場合は、新しい延長イニングに入らず直ちに特別延長戦とする。
 - ② 天皇賜杯、国民体育大会以外の場合、延長戦を行わず直ちに特別延長戦とする。
10. 1日2試合（ダブルヘッダー）を行う場合のベンチ
大会日第二試合目の勝者は、ベンチの変更は行わず、第三試合目のベンチとする。
なお、大会実施要項の規定を適用しない場合もある。